

保護者等向け 放課後等デイサービス自己評価表（放課後等デイサービス くれよん）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	0	0	建物も広く、部屋数もあり、園庭も広く遊びがたくさんできる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	7	0	人数や専門性などは保護者の判断は難しい。法的には問題ないと思う。 障害が重い方が利用された際、職員が付きっきりになってしまう為、大変そうと感じる。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	11	0	スロープ等利用が必要な子にとって適切かはわからない。 駐車場から建物に入る所や玄関にはスロープがある。 玄関にスロープがあるとよい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（i）が作成されているか	23	4	0	
	⑤	活動プログラム（ii）が固定化しないよう工夫されているか	12	15	0	長期の休みや土曜日などは、プールや外食など色々あります。 平日は、プログラムが固定化されることで、安定しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	17	3	交流の機会がどの位あるかわからない。 重度障害児の為、無理のない活動をしてもらっている。 我が子が利用していない時に交流があるのかもしれないが、クリスマス会には参加したことがある。 もう少し交流があると嬉しい。 障害のない子との交流はなくてもよい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	3	0	年に1度面談で説明を受けている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	4	1	迎えに行った時に、様子を直接話してもらえる。 日頃からという点では難しいが、子どもの状況を伝えさせてもらったり、聞かせてもらっている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	13	1	相談しやすい職員に会話の中で相談や助言を受けている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	5	12	10	就学前に同じところに通っていたり、学校が同じ保護者とは話ができるが、共通点のない方にはお会いする機会がない。 たまに、親の参加がある行事等があれば保護者との繋がりができると思う。 他の親の会に参加している為、必要を感じない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	10	1	迎えに行く為、情報をすぐに聞くことができ、対応できている。 アンケートの結果や説明があれば丁寧ではないか。 特に苦情はない。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	4	0	利用の際、様子は教えてくれるが、子どもが自身の言語で伝えることができないので配慮があると嬉しい。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	10	6	法人の会報はあるが、活動概要などもっと発信してくれたら嬉しい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	3	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	12	2	契約時に説明は受けたが、文書化してくれると確認ができる。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	16	1	週1回ほどの利用の為、タイミングが合わなかったり、子どもから参加した話を聞いていない。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2	0	外で砂遊びやたくさん遊べる為、楽しみにしている。 他事業所でもそうであるが、行ってしまえば楽しんでいるが、行き渡ることがある。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	24	3	0	帰りの送迎があるとありがたい。 支援級の迎えの回数を増やしてもらえると嬉しい。 学校でのトラブルや登校拒否などの時にも対応してほしい。 家ではできない遊びをたくさんしてもらえたり、職員がよく見てくれ、満足している。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（放課後等デイサービス くれよん）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	0	利用児の状況、特性により部屋の分配や個別対応の部屋を決めている。 広すぎて見えない場所には、立ち入らないよう柵等の取り付けを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	人員基準は満たしており、利用児の状況により職員の配置ができる体制となっている。 利用児により、1対1や1対2での対応もあり、部屋移動などの工夫も取り入れている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	6	0	車いす等の利用児が利用の際には、玄関等にスロープ板をその都度設置している。常にスロープ板を設置しておく、他児の転倒等の危険があり、全ては難しい。 絨毯、畳の部屋に上がる際の段差など改善の余地あり。 段差等にゴムを付け、危険防止を図っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1	0	統一した対応ができるよう、会議や日々の話し合い、連絡ノートにて報告や確認をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3	0	保護者からの意向等を聞き、会議等での周知、話し合いを実施している。 今後も業務改善に努める。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	第三者評価は受審していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	支援会議、職員会議、法人研修等に参加。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	アセスメントを実施。保護者からの要望等は、会議等で全職員に伝え、話し合いを重ね、計画作成を行なっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	個人へのスケジュールの提示や視覚支援、予定の確認等を実施。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	会議や会議以外での勤務時間に話し合いを行ない、活動プログラムの立案をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	4	0	利用児の状況により、静と動の活動を取り入れたり、グループ分けを行なっている。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4	0	休日、長期休暇には、外出、ランチなど、日々行えない支援を行い、必要に応じ課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	状況に合わせて作成。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	利用児の特性を話し合い、適した活動ができるよう確認しあっている。 ホワイトボードや連絡帳も活用し、前日からの様子や当日の担当等を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	6	0	ケース記録だけではなく、連絡帳やヒヤリハットも活用している。 記録を書き、職員で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	定期的実施。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	ガイドラインの内容を全ての職員が把握できていない部分がある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	4	0	
関係機関や保護者との連携関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	担当者会議前には話し合いをし、参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	0	送迎時、学校の様子や身体チェックを書き込み、職員間で共有できるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0	必要に応じ、相談支援事業所に情報を伺っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	0	同法人内の施設とは情報交換を行なっている。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	全職員の参加はないが、参加者からは研修後に報告あり。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	0	近くの小学校との交流や児童館の利用の際に、一緒に遊ぶことはある。また、市内の放課後児童クラブの運動会に参加もある。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	3	決まった職員のための参加になっている。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3	0	保護者の迎えの際に、様子を伝えている。アクションの大きな利用児の保護者と話す機会が多い。また、連絡ノートを活用している利用児もあり、共通理解に努めている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	1	必要に応じ、相談等がある場合や連絡ノートを活用したり、アクションの大きな利用児がメインとなっている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	入所の際の面談にて説明を行ない、改訂があった場合などは、その都度お知らせしている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2	0	全職員は行っていないが、主な職員が行ない、相談や気になったことがあった時には助言している。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	8	父母会なし。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3	0	職員には伝達を行ない、内容により、相談者、協力者を募り、適切な対応を心掛けている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	5	0	事業所のみの会報なし。 活動の写真を玄関先のボードに掲示し公表している。 会報等の発行は検討の余地あり。
	③5	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	視覚支援や構造化に取り組み、それぞれにわかりやすく配慮に努めている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	4	日赤奉仕団や民生委員の受け入れはある。
	③8	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	マニュアルの策定はあり、全職員には周知しているが、保護者に対して周知できていない部分がある。

非常時等の対応

③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	毎月1回防災訓練を実施。防災センターや公園の津波避難タワーの利用もある。しかし、利用児は毎日の利用ではないため、全ての参加は難しい。 職員間では、消火器等の設置場所の確認等も実施。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	会議や研修の参加あり。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	事前に保護者に内容説明を行ない、書類に署名捺印をいただいている。 時間や内容を具体的に記入している。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	0	事前に聞き取りを行ない把握している。再度、外食や買い物の際に聞くようにしている。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	ヒヤリハットを活用し、会議での話し合いを行ない、共通理解に努めている。